

【第4回公演「ショパンとの接続」】

2026年2月21日(土)18時開演(17時半開場)

ショパン「6つのポーランドの歌」S.480 (1857/60)
「創世の六日間(ヘクサメロン)」変奏曲 S.392 (1837)
交響詩「前奏曲」S.97 (1855/58) [C. タウジヒ編独奏版]

超絶技巧練習曲集 第7番～第12番 S.137 (ミラノ初版、1838)
三関健斗(1996-) : 委嘱新作(2025、初演)

2つのポロネーズ S.223 (1852)
華麗なマズルカ S.221 (1850)
慰め S.172-3 (1850)
バラード第2番 S.170a (初稿、1853)
子守歌 S.174 (第2版、1862)
葬送、1849年10月 S.173-7 (1849)

【第5回公演「ヴァイマルの黎明」】

2026年3月28日(土)18時開演(17時半開場)

ハンガリー狂詩曲第6番 S.244-6 (1847)
ハンガリー狂詩曲第14番 S.244-14 (1847)
演奏会用大独奏曲 S.176 (1849)
1qaz (1995-) : 委嘱新作 (2025、初演)

F. キュームシュテット(1809-1858) : リスト博士の主題による四声の演奏会用大フーガ Op.24 (1850)
スケルツォと行進曲 S.177 (1851)
マイアベーア《預言者》の「我らに救いを求めし者たちに」による
幻想曲とフーガ S.259 (1850/97) [F. ブゾーニ編独奏版]

交響詩「プロメテウス」S.99 (1855/1905) [A. ストラダル編独奏版]
死の舞踏 - 「怒りの日」によるパラフレーズ S.525 (1853/65) [作曲者編独奏版]
レーナウ「ファウスト」からの2つのエピソード S.513a/514 (1860)

大井浩明 Hiroaki OOI, fortepiano

京都市出身。スイス連邦政府給費留学生ならびに文化庁派遣芸術家在外研修員としてベルン芸術大学(スイス)に留学、ブルーノ・カニーノにピアノと室内楽を師事。同芸大大学院ピアノ科ソリストディプロマ課程修了。また、チェンバロと通奏低音をディルク・ベルナーに師事、同大学院古楽部門コンツェルトディプロマ課程も修了した。アンドラーシュ・シフ、ラーザリ・ベルマン、ロバート・レヴィン(以上ピアノ)、ルイジ・フェルディナンド・タリアヴィーニ(バロック・オルガン)、ミクローシュ・シュパーニ(クラヴィコード)等の講習会を受講。

第30回ガウデアムス国際現代音楽演奏コンクール(1996/ロッテルダム)、第1回メシアン国際ピアノコンクール(2000/パリ)に入賞。第3回朝日現代音楽賞(1993)、第11回アリオン賞奨励賞(1994)、第4回青山音楽賞(1995)、第9回村松賞(1996)、第11回出光音楽賞(2001)、第61回文化庁芸術祭新人賞(2006)、第15回日本文化芸術奨励賞(2007)、第1回一柳慧コンテンツ賞(2015)等を受賞。

フォルテピアノでは、モーツァルト:クラヴィアソナタ全17曲(06年10月～08年2月)、同:ヴァイオリンソナタ全17曲(09年7月～12年2月)の他、06年秋に日本モーツァルト協会例会にて寺神戸亮指揮レ・ボレアード(古楽器オーケストラ)と協奏曲(KV453)を共演、その成果により第61回文化庁芸術祭新人賞を受賞した。08/09年にかけては、ベートーヴェン:クラヴィアソナタ全32曲ならびにリスト編交響曲全9曲を、時代順様式別の9種類のフォルテピアノで弾き分けるシリーズ(全13公演)を開催、NHK-BS「クラシック倶楽部」等で紹介され、ライヴ盤はENZO/King Internationalレーベルからリリースされた。1825年ウィーン製フォルテピアノ(80鍵/4本ペダル)によるF.シューベルト主要クラヴィア作品集(23年11月～24年3月/全5回)、1843年製ブレイエル(80鍵/430Hz)による初期ロマン派ピアノ主要作品集「ベルリオーズ/ショパン/シューマン/リスト/アルカン」(20年10月～21年2月/全5回)、1887年製スタインウェイ(ローズウッド)による後期ロマン派ピアノ主要作品集「ワーグナー/フランク/ブラームス/フォーレ/レーガー」(21年10月～22年3月/全5回)等に加えて、各種のフォルテピアノのための委嘱新作は30曲を超えている。 公式ブログ <http://ooipiano.exblog.jp/>

1840年製エラル(Érard)社フォルテピアノ [80鍵、430Hz]



松濤サロン地図

